

# 東洋医学の診察法における研究

明治国際医療大学 基礎鍼灸学講座 和辻 直、齊藤宗則、渡邊勝之

東洋医学の診察法は、現代医療でも有用な情報を提供する。  
このため本学では教育や臨床に用い、研究も行っている。

ぜつ しん  
舌 診

## 舌は鍼治療で変化するのか？

主訴：食欲不振、嘔気、  
冷えのぼせ、不眠

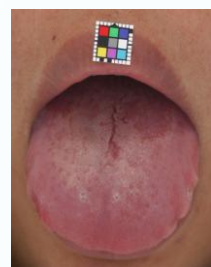
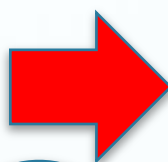
女性、20歳



舌・顔面診撮影システム



鍼治療前



鍼治療後

舌縁の歯形が多い

舌縁の歯形が減る

※「鍼治療後に舌の色が明るくなる傾向」  
が臨床研究で判ってきている。

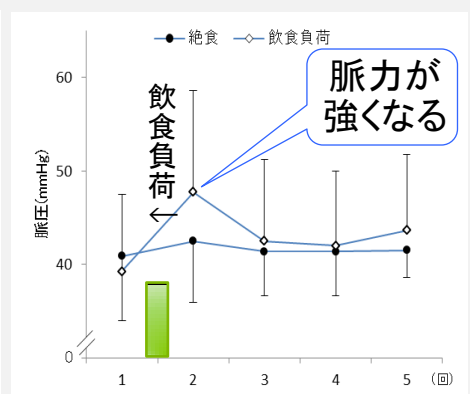
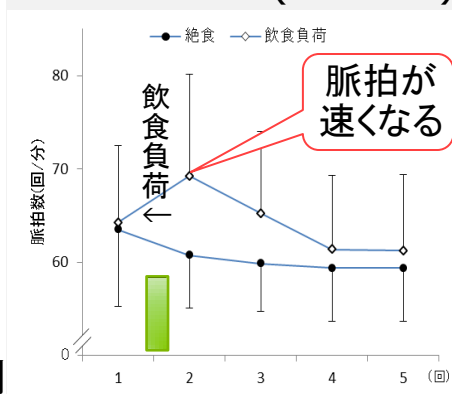
みゃくしん  
脈 診

## 食後に脈の変化があるのか？

親指側の動脈（橈骨動脈）で脈をみます。



血圧脈波検査装置の計測



伝統医学の説では、「食後に脈は速くて強くなる」とし、  
このことを裏付けることができた。

### 参考文献

- 1) 和辻 直, 篠原昭二, 北小路博司, 他: 舌診・顔面診撮影システムの導入と運用, 全日本鍼灸学会雑誌, 59 :199, 2010.
- 2) 和辻 直, 篠原昭二, 関 真亮, 他: 舌診・顔面診撮影システムの運用, 全日本鍼灸学会雑誌, 61:276, 2011.
- 3) 橋本 徹, 和辻 直, 篠原昭二: 脈診の有用性に関する研究, 全日本鍼灸学会雑誌, 63 :178, 2013.